



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	159,693	9.0	3,660	8.7	3,862	10.6	2,556	13.9
30年3月期第3四半期	146,560	21.5	4,009	95.8	4,322	77.7	2,968	81.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,195百万円 (30.7%) 30年3月期第3四半期 3,166百万円 (315.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	97.07	
30年3月期第3四半期	112.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	81,001	58,078	71.6
30年3月期	80,261	56,648	70.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 58,004百万円 30年3月期 56,592百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		14.00		14.00	28.00
31年3月期		15.00			
31年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	5.2	5,000	2.5	5,200	1.1	3,500	1.2	132.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	28,908,581 株	30年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	2,575,759 株	30年3月期	2,575,524 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	26,332,930 株	30年3月期3Q	26,333,360 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など、緩やかな回復基調が続きましたが、通商問題が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性などから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループの貴金属関連事業においては、営業展開の強化と国内外の生産拠点活用により、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んでおります。また、食品関連事業においては、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動を推進し、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高159,693百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益3,660百万円（前年同四半期比8.7%減）、経常利益3,862百万円（前年同四半期比10.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,556百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、全体的には好調を維持しましたが、電子部品・デバイス分野の増勢には鈍化が見られました。このような状況の中で当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクルの取扱量は拡大し、銀を除く貴金属製品の販売量及び産業廃棄物処理の取扱量が増加したことから、パラジウムを除く貴金属製品の販売価格は低下したものの、全体としての売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は101,069百万円（前年同四半期比8.9%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は2,272百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、国内の個人消費に力強さを欠く中で、加工食品需要の高まりや海外展開の拡大などにより、緩やかな上昇傾向で推移しました。このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、水産品、畜産品の販売量が増加し、水産品の販売価格の上昇もあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は58,690百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は1,387百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ740百万円増加し、81,001百万円となりました。これは主として商品及び製品の減少1,873百万円、受取手形及び売掛金の増加1,678百万円及び有形固定資産の増加690百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ689百万円減少し、22,923百万円となりました。これは主として買掛金の増加1,063百万円及び借入金の減少2,370百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,430百万円増加し、58,078百万円となりました。これは主として配当金の支払いを上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ531百万円増加し8,103百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は4,704百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、減価償却費、たな卸資産の減少、仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権の増加、法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の388百万円の資金の減少に比べ5,093百万円増加しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は880百万円となりました。これは主として工場設備及び車輛等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,481百万円の支出に比べ600百万円の支出減少となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は3,319百万円となりました。これは主として借入金の減少によるものです。なお、前年同四半期の1,913百万円の資金の増加に比べ5,232百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、前回発表時（平成30年5月11日）の業績見通しを変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,571	8,103
受取手形及び売掛金	22,502	24,181
商品及び製品	16,778	14,905
仕掛品	393	510
原材料及び貯蔵品	6,531	6,638
その他	3,584	3,234
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	57,362	57,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,201	9,273
減価償却累計額	△4,875	△5,106
建物及び構築物(純額)	4,325	4,166
機械装置及び運搬具	8,383	8,586
減価償却累計額	△6,740	△7,085
機械装置及び運搬具(純額)	1,643	1,501
土地	8,925	8,840
リース資産	849	1,114
減価償却累計額	△284	△390
リース資産(純額)	564	723
建設仮勘定	199	980
その他	1,135	1,318
減価償却累計額	△927	△972
その他(純額)	208	346
有形固定資産合計	15,867	16,558
無形固定資産		
その他	774	673
無形固定資産合計	774	673
投資その他の資産		
投資有価証券	4,575	4,528
繰延税金資産	72	84
その他	1,673	1,602
貸倒引当金	△64	△16
投資その他の資産合計	6,256	6,199
固定資産合計	22,898	23,430
資産合計	80,261	81,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,626	8,689
短期借入金	7,402	2,828
1年内返済予定の長期借入金	1,063	1,158
リース債務	206	260
未払法人税等	1,155	307
賞与引当金	763	413
その他	3,104	4,750
流動負債合計	21,321	18,408
固定負債		
長期借入金	535	2,643
リース債務	456	535
役員退職慰労引当金	604	603
執行役員退職慰労引当金	23	26
退職給付に係る負債	224	243
繰延税金負債	333	380
その他	115	82
固定負債合計	2,291	4,514
負債合計	23,613	22,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	50,238	52,030
自己株式	△3,010	△3,010
株主資本合計	54,795	56,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630	529
繰延ヘッジ損益	121	△124
為替換算調整勘定	1,101	1,054
退職給付に係る調整累計額	△56	△43
その他の包括利益累計額合計	1,796	1,416
非支配株主持分	55	73
純資産合計	56,648	58,078
負債純資産合計	80,261	81,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	146,560	159,693
売上原価	132,510	144,902
売上総利益	14,049	14,790
販売費及び一般管理費	10,039	11,130
営業利益	4,009	3,660
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	22	24
投資有価証券売却益	0	13
持分法による投資利益	359	198
仕入割引	11	9
その他	58	48
営業外収益合計	458	300
営業外費用		
支払利息	38	41
為替差損	66	29
投資有価証券評価損	17	-
その他	23	27
営業外費用合計	145	98
経常利益	4,322	3,862
特別損失		
減損損失	-	77
特別損失合計	-	77
税金等調整前四半期純利益	4,322	3,785
法人税、住民税及び事業税	1,220	1,049
法人税等調整額	118	160
法人税等合計	1,339	1,209
四半期純利益	2,983	2,575
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,968	2,556

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	2,983	2,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△100
繰延ヘッジ損益	△18	△244
為替換算調整勘定	155	△26
退職給付に係る調整額	13	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	△18
その他の包括利益合計	183	△380
四半期包括利益	3,166	2,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,152	2,175
非支配株主に係る四半期包括利益	14	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,322	3,785
減価償却費	1,017	995
減損損失	-	77
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△46
賞与引当金の増減額(△は減少)	△380	△349
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	35
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	29	△21
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	2
受取利息及び受取配当金	△28	△30
支払利息	38	41
持分法による投資損益(△は益)	△359	△198
売上債権の増減額(△は増加)	△4,547	△1,684
たな卸資産の増減額(△は増加)	△840	1,640
仕入債務の増減額(△は減少)	272	1,069
その他	834	1,163
小計	385	6,481
利息及び配当金の受取額	180	112
利息の支払額	△38	△40
法人税等の支払額	△916	△1,847
営業活動によるキャッシュ・フロー	△388	4,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,470	△864
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△28	△32
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	0	22
その他	26	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,481	△880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,586	△4,579
長期借入れによる収入	-	3,000
長期借入金の返済による支出	△795	△796
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△737	△763
その他	△139	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,913	△3,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66	531
現金及び現金同等物の期首残高	6,784	7,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,850	8,103

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。この変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,770	53,789	146,560	—	146,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	46	46	△46	—
計	92,770	53,836	146,606	△46	146,560
セグメント利益	2,672	1,336	4,009	—	4,009

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,069	58,623	159,693	—	159,693
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	66	66	△66	—
計	101,069	58,690	159,760	△66	159,693
セグメント利益	2,272	1,387	3,660	—	3,660

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。